4-4. コレットチャックのサイズ及び適合表

H031　適合コレットチャック【Hグループ】

軸径	φ 2.34	φ 3.0	φ 3.175	φ 4.0	φ 5.0	φ 6.0	φ 6.35
型番	KP-061	KP-062	KP-063	KP-066	KP-067	KP-060	KP-064

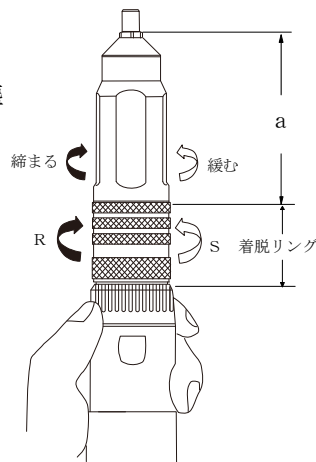
5. メンテナンス

＜日常のお手入れ＞

使用しているうちに、コレットチャックの中に切り粉や粉塵などがたまる場合があります。

時々、コレットチャックを外して掃除して下さい。

＜着脱リングが回らない場合の処置＞

コレットチャックを充分ねじ込まない状態で着脱リングを”S”の方向へ戻すと、着脱リングが固くて回らない場合があります。その場合、下記の手順を試してみて下さい。

1）ヘッドをモーターにつけたまま、a部を図の「緩む」の方向へ２回転ほど手で回します。（固くて回らない場合は、ゴム手袋等の滑り止めをお使い下さい。）

2）着脱リングを「カチッ」と音がして戻らなくなるまで”R”方向へいっぱいに回して下さい。

3）a部を「締まる」の方向へ回して充分締め込んで下さい。

4）コレットチャックを手でねじ込んだ後、Vスパナで軽く締め込めば正常な状態に戻ります。

6. 故障かな？と思われたら・・・

☆ ハンドピースが作動しない

○ パワーパックのACコードは確実に差し込まれていますか？

○ ヒューズは切れていませんか？

○ カールコードは確実に接続されていますか？

○ モーターのカーボンブラシは磨耗していませんか？

○ ハンドピースのコレットチャックは閉じていますか？

☆ 手元スィッチが作動しない

○ フットスィッチが接続されていませんか？

○ パワーパックはミニモワンシリーズもしくはセブンシリーズですか？

ミニター株式会社

本　　　社 〒130-0026 東京都墨田区両国1-16-3 ☎03-3633-7181 FAX 03-3633-7186

大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町2-4-2 ☎06-6531-5300 FAX 06-6531-5417

名古屋営業所 〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-15 ☎052-331-5222 FAX 052-331-5223

2014.01.30 IMJ-H031

取扱説明書

H031　　ヘビーデューティーヘッド

この度は、ミニモワンシリーズ【Ｈ０３１】をお買い求め頂き、誠に有り難うございます。本機を正しくお使い頂くために必ずこの取扱説明書と、モーターの取扱説明書、それにパワーパックの取扱説明書も併せてお読みになり、各機能を充分ご理解の上ご使用下さい。なお、お読みになった後もこの取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧下さい。

安全上のご注意

⚠ 警告（人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。）

○コレットチャックが開いた状態で手元スイッチ、DC MOTORスイッチをONにしないでください。モーターが動かない状態で通電することでモーターが過熱し火災や故障の原因となる恐れがあります。

○手元スイッチ、DC MOTORスイッチをONにした後は、必ずハンドピースが動作していることを確認してください。
モーターが動作していない場合、モーターが過熱し火災や故障の原因となる恐れがあります。
モーターが動作しない原因：コレットチャックが開いた状態、ハンドピース、モーター、パワーパックの故障など。

○作業中は、目の保護のために安全保護メガネを、粉じん対策のために防塵マスクを着用して下さい。切り粉や粉じんなどによって思わぬ傷害を負う恐れがあります。

○煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常が発生した場合には、すぐにメインスィッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなったことを確認し、修理を依頼して下さい。

○改造や分解をしないで下さい。安全性や性能などに重大な影響を及ぼしたり、故障・火災・感電の原因となります。

○モーター回転中は整流火花が発生します。シンナー、ガソリン等の引火性又は爆発性のある物質の近くでは絶対に使用しないで下さい。

○スィッチを入れる時はモーター（ハンドピース）を動かないようにしっかり持って下さい。モーターが跳ねて危険です。

○危険ですので先端工具、コレット等の回転体に触れないで下さい。

⚠ 注意（人が傷害を負ったり、製品が故障する可能性がある内容を示しています。）

○湿気の多い場所（風呂場など）、及び腐食性のガスや化学薬品の多い場所では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。

○結露の発生しない状態で使用して下さい。感電の原因となります。

○気温・室温が 0°～ 40°C の範囲で使用して下さい。

○子供には操作させないように、又、子供の手の届かないところに保管してください。

○物を当てたり、落下させるなどの強い衝撃を与えないで下さい。

○粉塵、油、水などが内部に入らないように御注意下さい。万一、内部に液体や異物が入った場合、電源を切って販売店に修理を依頼して下さい。

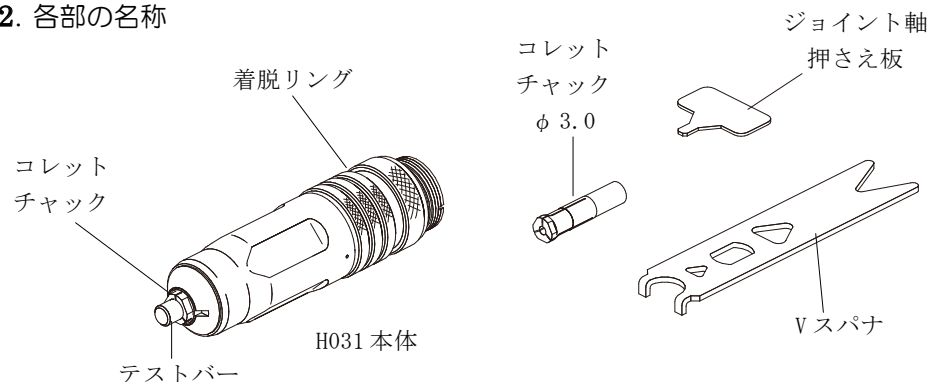
○カーボンブラシその他の部品を交換するときは、必ずスィッチを切ってコードを抜いてからおこなってください。

φ2.34からφ6.35までの軸径のセンタンツールが使えます。

1. 仕様・付属品

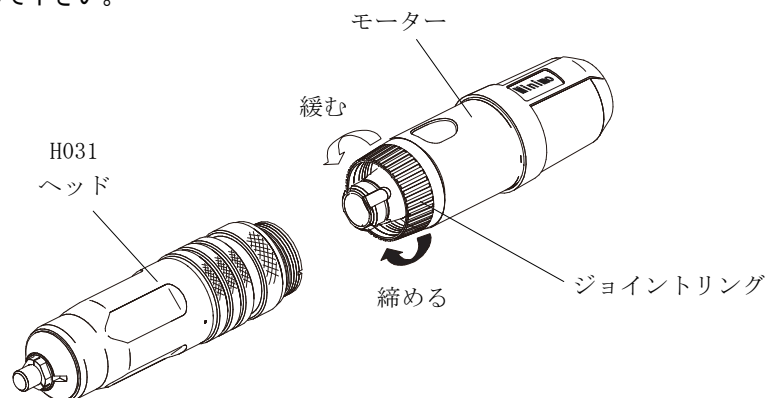
◇定格回転速度：30,000min^{-1}
◇定格ホイール径：Φ30
◇適合モーター：
KM212H,KM112,KM212,KM212L,KM112G

◇コレットチャックφ3.0(KP-062)・・1PC.
(本体にはφ6.0軸用のKP-060が装着されています。)
◇Vスパナ(KP-609A)・・・・・・・・1PC.
◇ジョイント軸押さえ板(KP-M01)・・・1PC.

2. 各部の名称

3. 操作方法

3-1. モーターとの接続

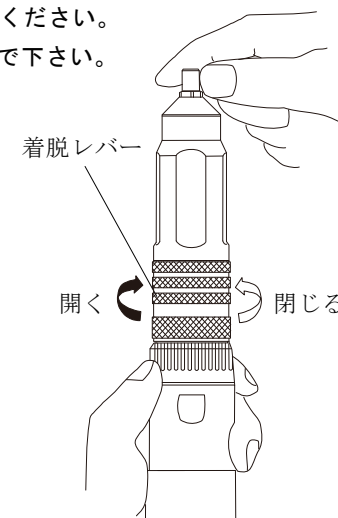
※安全のため、モーターとパワーパックは接続しない状態で行なって下さい。

1) H031ヘッドの内側の突起をモーター先端部の溝にあわせて差し込みます。
2) モーター部のジョイントリングを回してしっかり締め付けます。
* モーター先端部に4つの溝が切られていますので作業にあわせて最適の溝に差し込んで下さい。

3-2. センタンツールの着脱

▲ 危険ですので常にカールコードを電源から抜いてください。
モーター回転中は、絶対に着脱リングを回さないで下さい。

1) 着脱リングを"カチッ"と音がして戻らなくなるまで右図の"開く"の方向へ回します。
2) テストバーや着いていたセンタンツールを抜き、新しいセンタンツールを差し入れます。
3) 着脱リングを"閉じる"の方向へ"カチッ"と音がするまで戻すとコレットチャックが閉じてセンタンツールが把握されます。

※出荷時にはテストバーが装着されていますので取り外してからご使用ください。

◆コレットチャックが開いた状態では、モーターは作動しません。

3-3. コレットチャックの交換

1) 着脱リングを"カチッ"と音がして戻らなくなるまで上図の"開く"の方向へ回し、センタンツールを外します。
2) テストバーを差し込み、Vスパナの三角穴をコレットチャックに合わせ右図の矢印方向に回し、緩めて抜き取ります。
3) 空回りして緩められない場合はヘッドをモーターから外し、ジョイント軸押さえ板をヘッド部の十字カットの部分に図のように差し込み、回転軸を固定してから、緩めてみてください。
4) 交換するコレットチャックを差し入れ、着脱リングは1)の"開く"の状態のまま、ジョイント軸押さえ板は外してからテストバーを入れて指で軽く止まるまでねじ込んだ後、Vスパナで軸が空回りするまで締め込みます。ジョイント軸押さえ板等で軸を固定して締めると、締め過ぎになります。
5) ヘッドをモーターに元通りに接続します。

ジョイント軸押さえ板
十字カット
Vスパナ
緩む

注 コレットチャックを締めたり、緩めたりする場合、必ず、その軸径に合ったテストバー、又はセンタンツールの軸をコレットチャックに差し込んで下さい。コレットチャックがねじれて破損することがあります。